

『まちづくりが元気！ おおた』

登録事業のご紹介！



『まちづくりが元気！おおた』

登録事業

『まちづくりが元気！おおた』では、
大田区の高齢者に関わる医療・保健・福祉の専
門機関が、まちづくりに向けてのメッセージを、
ステッカーとフリーペーパーにのせて、地域に発
信します。

高齢者がいくつになっても住みたいまち、すな
わち、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮
らせるまちづくりに寄与する事業です。

主催：おおた高齢者見守りネットワーク
後援：公益社団法人 大田区シルバー人材センター
大田区通所介護事業者連絡会
協力機関：社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

まちづくりが元気！おおた

平成 年度版

私たちはまちづくりに取り組んでいます。



企業・事業所名

連絡先

担当者

〈複製・無断使用を禁ず〉

ステッカー記入例

【薬局】

『日々の健康管理はできていますか？
血圧、体重、体脂肪、測定が無料でできます。』

「健康」・「お薬」・「介護」

お困りなことがあれば、
ぜひお立ち寄りください！』

ステッカー記入例

【通所介護】

『趣味を共有してみませんか？
ちょっとしたスペースあります！！』

◎ ご自身の趣味で作った作品を展示してみませんか？
例）・・・絵・折り紙などの作品・壁飾り・生け花・盆栽 等

◎ 皆さんでお花や作物を栽培してみませんか？

ステッカー記入例

【施設】

- 『館内に、近隣の方、どなたでも利用できる
図書室があります。貸し出し可能な本を
常時3000冊以上、開架しています。
お気軽にお立ち寄りください。』
- 『多目的ホールにて、近隣の方に、
自由にご参加いただけるクラブ活動、イベント、
映画会など、多数開催しています。
予定表をお配りしています！』

ステッカー記入例

【配食サービス】

- 『お食事、栄養についてご不安な方、
ご相談ください！
お食事と一緒に地域の情報をお持ちいたします！』




フリーペーパー
表紙イメージ！

**年2回
10000部発行！**



年2回程度の情報交換会を開催します！

フリーペーパー編集委員大募集！

地域包括支援センター見守りコーディネーターの皆さん！
まちづくりに具体的に取り組んでいる事業所との情報交換の場として
活用してください。

情報交換会を通して、
地域で働く専門職同士の
交流・連携を深めます。



地域包括ケアは私たち専門職にとってなぜ必要なの???

地域のため、高齢者のため、家族のため・・・?
やらなければいけないから・・・?

**こんな気の重い、
 苦痛な
 ことはありません!!**



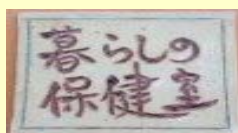
自分たちの本来持っている
専門性を発揮できる
仕事をするため！

生死に関わるぎりぎりの状態で
通報により初めて介入！

(こんなときは専門職もへったくれもない！)

都営戸山ハイツ
暮らしの保健室


7000人が居住。高齢化率45%を超える。
空き店舗を活用して、
学校の保健室のように困りごとを気軽に相談できる。



私たちに、『暮らしの保健室』を
立ち上げさせたのは、医療職としての意地と
限界以外の何ものでもありません。

ぎりぎりの状態で、私たち保健師・看護師に
たとえつながったとしても、
私たちにできることは限られてしまう……。

だから、自分たちから地域住民の生活の場
に向いたのです！！



一人はひとりではしかない……。

本来サービスが必要だが、
自分ではサービス利用までたどり着くことができない、
SOSの手を自ら挙げることのできない人たちをどうするか？

地域包括支援センターで
把握し、サービス利用に
つなげていく。

↓

地域とつながる必要がない。
住民は地域包括支援センター
におまかせ。

↓

実働職員を配置するのなら、
一人ではすぐに足りなくなります。

最初からそうだったわけではない。
今からこのような人たちを
つくりださない取り組みへ方向転換！

↓


地域も役割を担う。地域のため
あり、自分のためにも……。

↓

協力を求めるということは、
役割を持ってもらうということ。
この『役割』というものが、
これからの高齢者の孤立予防
につながる。

**地域包括支援センターが
担うのは、
実働部隊ではなく
コーディネート機能！**

**「孤立していく高齢者をつくりださないこそが大切！」
この視点から、地域包括支援センターが形づくネットワーク構築を考える。**



社会資源を最大限に活用した地域包括ケアの実現

社会資源・人的資源の宝庫である
大都市部の利点を最大限生かした
地域包括ケアを構築していきましょう。



医療連携

医療・介護連携

地域包括ケア

今、なぜ
必要なのか・・・？

決して見失ってはいけないこと！

- 地域に暮らす、地域で働く、すべての人たちで支え合う体制づくりのため。（制度内連携・制度間連携・専門職連携がゴールではない！）
- まちづくりの視点！

働く 『場』 がちがうだけ・・・。

共通の対象に
地域で向き合っている医療・保健・福祉専門職で、

共通の課題 (大都市部の急速な高齢化) に
具体的に取り組んでいきましょう。

シンポジウムのポイントの整理

- ①20%の支援が必要な高齢者のみでなく、80%の自立した高齢者も含めてどんな関わりができるのか・・・
- ②健康度が低下してきたとき、高齢者が望む医療・介護を受けられるようにするには・・・

大田区発進！地域包括ケアとは？

地域で働く専門職が、
全ての高齢者と日常的につながっているまち！！

||

高齢者がいくつになっても、暮らし続けられるまち

これが、私たち専門職ができるまちづくり！！